

おでかけハッピー号の ボランティア運転手を 大募集！！



おでかけハッピー号を運転して
頂けるボランティアを大募集して
います！

○目的地まで安全運転できる方で
あれば年齢は問いません。

○若干の謝礼を用意しています。

○運転範囲は306号線近辺の店
舗，医院までです。

☆ 問い合わせ先 椿公民館 ☆

☆ 059-371-1786 ☆



椿一宮神社 撮影：椿地区市民センター

福祉部会からのお知らせ ①

暑さが日増しに厳しくなってきました。お出かけしたい所ですが、新型コロナウイルスが収まる傾向にありません。ワクチンの予約はお済でしょうか。体調がおかしいと感じたら受診を控えずかかりつけ医へ相談しましょう。

新型コロナウイルスのよくある症状として、発熱，空咳，倦怠感があります。また，咽頭痛，頭痛，下痢，味覚・嗅覚消失，発疹が時折みられ，重篤な症状になるとウイルスに感染してから平均5日から6日後に息切れ，胸部痛，神経症状が現れます。症状がでたときは，かかりつけ医に必ず事前に連絡を取ってから受診しましょう。

また，真夏日気温25度以上の日が時々あります。発汗により身体に必要な塩分が消失します。放置すると熱中症へと悪化し心筋梗塞，脳梗塞を誘発します。7月は脳梗塞，心筋梗塞が増加する季節となります。脱水症に注意しましょう。

食中毒予防の3原則

菌を つけない

清潔・洗浄

- ・調理前の手洗い
- ・調理器具の洗浄・消毒

菌を 増やさない

迅速・冷却

- ・できるだけ早く食べる
- ・食品の保存は10℃以下で。ただし過信は禁物！

菌を やっつける

加熱・殺菌

- ・加熱する食品は十分加熱し、中心まで熱を通す

梅雨時期（5月～6月）と夏（7月～9月）は湿度や気温が高く、細菌が増えやすいので細菌性の食中毒が増加します。

食中毒を起こす細菌は土の中や水、ヒトや動物の皮膚や腸の中にも存在しているので、家のなかでも食中毒はおきてしまいます。



買物をするときには保冷剤と保冷バックなどを使って、帰ったらすぐに冷蔵庫（冷凍庫）に入れましょう。

気温が上昇すると食べ物が腐りやすく、食中毒が起きやすくなります。

抵抗力が弱い子供や高齢者は重症化することがありますのでしっかり予防しましょう。

新しい駐在さんです！

長年、椿地区の安全のために尽力された小松さんが異動され、令和3年4月から新たな駐在さんが赴任されました。

新たな駐在さんは井ノ口祐一さんです。

不審な行動をする自動車や人物を見かけたりしたら相談してください。

緊急の場合は鈴鹿警察署（代表：059-380-0110）へ連絡してください。

サツマイモを植えました（文化振興部会・青少年育成部会）

5月20日（木）に椿小4年生とボランティアの方々にサツマイモを植えました。

曇り空の中、生徒たちは教えてもらった植え方で順序良く植えていきました。その後、ボランティアの方で獣除けの囲いを作っている最中に雨が降り出しましたが、皆さんの協力で完成しました。秋に皆で収穫するのが楽しみです。



参加いただいた椿小4年生、ボランティアの方々、本当にありがとうございました。